

2021年8月2日  
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平  
担当ワーキンググループ主査 織田 由紀子

ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）  
（協力準備調査（有償））  
スコーピング案に対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・ 日時：2021年7月19日（月）14:00～17:56
- ・ 場所：オンライン会議（Teams）
- ・ ワーキンググループ委員：織田委員、寺原委員、山岡委員、米田委員
- ・ 議題：ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）（協力準備調査（有償））に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・ 配付資料：
  - 1) 【事前配布資料】ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業（フェーズ3）（協力準備調査（有償））SC案
  - 2) 回答表
- ・ 適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第127回委員会）

- ・ 日時：2021年8月2日（月）14:02～15:24
- ・ 場所：オンライン会議（Teams）

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. ウズベキスタンの将来電力需要につき、公開されている根拠等にもとづき、本事業の必要性を DFR に記載すること。特に再生可能エネルギーの導入や、既存発電所の廃止時期との関係を明確にすること。

### **代替案の検討**

2. GTCC1～4 の各冷却方式は同一ではないため、各冷却方式に関する水質管理は、Zeravshan 川の水質や水量への負の影響を含めて、具体的な内容を DFR に記載すること。

### **環境配慮**

3. GTCC2 において設定された基準値およびこれまでの実績を踏まえて、GTCC3 および 4 の排水、排ガスに関する基準についての政府および事業者の考え方を DFR に記載すること。
4. GTCC1・2 それぞれの運転後のモニタリング結果をできるだけ入手し、その結果に基づいて累積的影響の評価分析結果を DFR に記載すること。

以上